



マルシェが盛況 オーガニックフェア開催

12月20日、丹波の森公苑で、たんばオーガニックフェア2025が開催されました。ホールでは、映画「夢みる給食」の上映や市内オーガニック給食関係者によるトークショーが行われたほか、マルシェでは環境にやさしい農産物を使った飲食ブースの出店があり、にぎわいを見せていました。



健康づくりに関する連携協定を締結

12月19日、株式会社ケーエスケー柏原支店と健康づくりに関する連携協定を締結しました。今後は、健診受診率の向上、健康増進や食育推進に関する啓発、感染症対策などの分野で連携し、市民の健康づくりや市民サービスの向上につなげていきます。



高校生が仕事体験 ワークフェスタ

12月17日、春日体育センターで、ワークフェスタinTAMBA2025が開催されました。約150人の高校生が市内31事業所のブースで仕事を体験し、質問などを通じて事業所とコミュニケーションをとることで将来の仕事を考えるきっかけとなりました。

Machikado - Topics

まち☆とび



まなび☆ときめきフェス開催

12月20日、ポップアップホールで、まなび☆ときめきフェスが開催されました。ステージでの発表や自作のラジコン（写真）、マジックの披露など日頃の学びを伝えるブースの出店があり、発表者と来場者が互いに学びあう場となりました。



藤川球児監督(中央)や他の選手らと記念撮影をする早瀬投手(左列前から2番目)

早瀬朔投手が阪神タイガースに入団

12月15日、大阪市内で阪神タイガースの入団会見が行われました。ドラフト4位で入団し、54年ぶりの丹波市出身のプロ野球選手となる早瀬朔投手は笑顔で会見に臨み、ユニフォーム姿(背番号44)を披露しました。



ランニングやキャッチボールで汗を流しインタビューに答える早瀬投手

丹波市で自主トレーニングを開始

1月3日、丹波年輪の里で早瀬投手が自主トレーニングを行いました。テレビや新聞記者による取材にも応じ、「地元に帰つて多くの人に祝福をしてもらった」「自分が活躍して丹波市を有名にしたい」「丹波の子どもたちの目標になるような選手になりたい」と語りました。



防災・減災対策にVRゴーグルを贈呈

12月23日、JA丹波ひかみから市へ防災用品としてVRゴーグルが贈られました。地震や洪水などの災害をバーチャルで体験することができ、藤原昌和組合長は、「災害はいつ起こるかわからない。防災訓練を通じてVRゴーグルを活用し、市民の防災・減災意識の向上に役立ててほしい」と語りました。



冬空の下 たすきをつなぐ ちーたん駅伝

12月14日、三ツ塚史跡公園周辺で、ちーたん駅伝が開催されました。約70チームが出場し、冬空の下、ランナーたちが各コースを走ってたすきをつなぎました。沿道や中継地点には、多くの人が集まり声援を送っていました。

